戸部公園にある水準点

"測る"話

6月3日は「測量の日」。ご存じない方が多いと思いますが、測量の意義や重要性をみなさんに知っていただくとともに地図などの普及をはかろうと、昨年制定されたものです。そこで、測量にちなんだ話題を2つ紹介します。

いくつある？区内の水準点

測量は、国土の実態を把握することにより、さまざまな社会活動の基礎資料を提供するものです。そして、この測量に欠くことのできないものが、海面からの高さを示す水準点です。現在、区内の25カ所に水準点がありますが、これらは、公園や橋のたもと、個人の所有地内などさまざまな場所に設置されています。水準点というと、石でできた水準標を想像しますが、現在は、金属性の物が多く使われています。

測量は、その成果である地図が、私たちの生活に深く関わりがあることからもわかるようにとても大切な仕事です。ですから、これらの基定となる水準点にいたずらなどしないようにしましょう。

藤棚から何キロ？世界の都市

藤棚一丁目におもしろいものがあります。場所は藤棚交差点。お茶づつ形の赤ミカゲ石の上に、この場所の緯度と経度が刻まれています。今いるところが、地球上のどのあたりになるのか考えながら、もう一度よく見ると側面にスペインのバルセロナなど海外の都市までの距離も刻まれています。これは、街並みの整備にあわせ設置されたもので数値はその際計算されました。信号待ちを楽しくしてくれる石柱ですね。

▶上面に北緯35度26分、東経139度37分、側面はワシントンまで10,930キロ、パリまで9,730キロ、ソウルまで1,150キロ、そしてバルセロナまで10,430キロと刻まれています。